

概要

2014

弘前大学大学院医学研究科

弘前大学大学院保健学研究科

弘前大学医学部

弘前大学医学部附属病院



Hirosaki University
Graduate School of Medicine,
Graduate School of Health Sciences,
School of Medicine and Hospital
Guide for Visitors 2014



概要 2014

弘前大学大学院医学研究科

弘前大学大学院保健学研究科

弘前大学医学部

弘前大学医学部附属病院

目次

1 沿革	01
2 組織図	06
3 職員	08
(1) 歴代研究科長・医学部長・附属病院長	08
(2) 役職員	09
(3) 職員数	12
4 大学院医学研究科・大学院保健学研究科・医学部	13
(1) 学生定員及び現員	13
イ．学部学生	
ロ．大学院学生	
(2) 学位授与数	15
(3) 外国人留学生数	15
(4) 解剖体数	15
イ．系統解剖	
ロ．病理解剖	
ハ．法医学講座における解剖	
(5) 図書・雑誌（医学部分館）	15
(6) 国際交流協定	15
(7) 附属脳神経血管病態研究施設	16
(8) 附属高度先進医学研究センター	16
(9) 附属動物実験施設	16
(10) 附属子どものこころの発達研究センター	16
5 附属病院	17
(1) 診療科別病床数	17
(2) 患者数	18
イ．診療科別患者数	
ロ．救急患者数	
ハ．年度別患者数	
(3) 臨床検査件数	19
(4) 放射線検査数及び治療件数	20
(5) 手術及び麻酔件数	21
(6) 分娩数及び出生児数	21
(7) 患者給食数（買上）	22
(8) 処方枚数・処方件数・処方剤数・その他	23
(9) 栄養食事指導件数	23
(10) 先進医療承認状況	23
(11) 国立大学附属病院評価指標に対応した実績	24
(12) 厚生労働大臣の定める施設基準等の届出状況	25
6 平成25年度決算額等	28
(1) 医学研究科	28
イ．収入・支出	
ロ．外部資金受入れ状況	
(2) 保健学研究科	29
イ．収入・支出	
ロ．外部資金受入れ状況	
(3) 附属病院	30
イ．収入・支出	
ロ．外部資金受入れ状況	
7 土地・建物	31
(1) 敷地面積	31
(2) 建物面積	31
イ．医学部	
ロ．附属病院	
8 建物配置図	33



1. 沿革

- 昭和19年 4 月 1 日 青森医学専門学校設置（勅令第165号）
- 昭和20年 4 月 1 日 青森医学専門学校の附属医院として県立青森病院を移管
- 昭和20年 7 月28日 戦災のため、附属医院及び寄宿舎を焼失
- 昭和22年 3 月10日 青森医学専門学校校舎を弘前市に移転
- 昭和22年 3 月15日 青森医学専門学校の弘前市移転に伴い、市立弘前病院を附属医院として移管
- 昭和23年 2 月10日 弘前医科大学設置（政令第33号）
- 昭和24年 5 月31日 国立学校設置法により青森医学専門学校、弘前医科大学を包括、新制弘前大学医学部設置（法律第150号）**
弘前大学医学部設置に伴い、青森医学専門学校附属医院は医学部附属病院と改称
 開設科は、第一内科・第二内科・精神科・小児科・第一外科・第二外科・皮膚泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科（11診療科）
- 昭和26年 3 月31日 青森医学専門学校閉校
- 昭和26年 4 月 1 日 医学部開設**
 開設講座は、解剖学第一・解剖学第二・生理学・生化学・病理学第一・病理学第二・細菌学・薬理学・衛生学・法医学（10基礎講座）
 内科学第一・内科学第二・小児科学・精神科学・外科学第一・外科学第二・整形外科学・皮膚泌尿器科学・眼科学・耳鼻咽喉科学・産婦人科学・放射線医学（12臨床講座）
 附属看護学校設置（法律第150号）（昭和52年3月31日閉校）
- 昭和27年 3 月 1 日 附属病院整形外科設置（12診療科）
- 昭和28年 4 月 1 日 医学部生理学講座が生理学第一・生理学第二講座に分離開設（11基礎講座）
- 昭和30年 4 月 1 日 医学部進学課程設置
- 昭和32年 4 月 1 日 附属助産婦学校設置（法律第203号）（昭和50年4月21日閉校）
 附属病院精神科が神経精神科と改称
- 昭和33年 4 月 1 日 国立学校設置法の一部を改正する法律の公布により大学院（医学研究科）設置（法律第28号）**
 医学部公衆衛生学講座設置（12基礎講座）
 医学部精神科学講座が神経精神医学講座に、産婦人科学講座が産科婦人科学講座と改称

大学院医学研究科・医学部医学科▶



昭和35年 3 月31 日	国立学校設置法の一部を改正する法律の公布により弘前医科大学廃止（法律第16号）
昭和37年 4 月 1 日	附属病院皮膚泌尿器科が皮膚科・泌尿器科に分離開設（13診療科） 附属病院薬剤部設置
昭和37年10月 1 日	医学部皮膚泌尿器科学講座が皮膚科学・泌尿器科学講座に分離開設（13臨床講座）
昭和39年 4 月 1 日	附属病院事務部に管理課及び業務課設置
昭和40年 4 月 1 日	医学部麻酔学講座設置（14臨床講座） 附属脳卒中研究施設（成因部門）設置
昭和41年 4 月 1 日	医学部寄生虫学講座設置（13基礎講座） 附属病院麻酔科設置（14診療科） 附属病院中央臨床検査部設置
昭和42年 4 月 1 日	附属病院歯科診療科設置（15診療科） 附属病院中央手術部設置 附属脳卒中研究施設に病態生理部門設置（2部門） 附属衛生検査技師学校設置（法律第76号）（昭和53年3月31日閉校）
昭和42年 6 月16日	附属病院神経精神科が神経科精神科に、産婦人科は産科婦人科に改称
昭和44年 4 月 1 日	附属診療放射線技師学校設置（昭和54年3月31日閉校）
昭和45年 4 月 1 日	医学部内科学第三講座設置（15臨床講座） 附属病院第三内科設置（16診療科）
昭和47年 4 月 1 日	附属衛生検査技師学校を臨床検査技師学校に改組（昭和53年3月31日閉校）
昭和47年 5 月 1 日	医学部生化学講座が生化学第一、生化学第二講座に分離開設（14基礎講座） 医学部脳神経外科学講座設置（16臨床講座） 附属病院脳神経外科設置（17診療科）
昭和50年10月 1 日	附属病院歯科が歯科口腔外科と改称 附属病院中央材料部設置
昭和51年 4 月 1 日	附属病院中央放射線診療部設置
昭和51年 5 月10日	附属病院看護部設置
昭和52年 4 月 1 日	附属脳卒中研究施設にリハビリテーション部門設置（3部門）
昭和53年 4 月 1 日	附属病院事務部を3課（総務課・管理課・医事課）に改組
昭和53年10月 1 日	附属病院救急部設置
昭和54年 4 月 1 日	医学部歯科口腔外科学講座設置（17臨床講座） 附属動物実験施設設置
昭和54年10月 1 日	附属病院分娩部設置



▲附属動物実験施設

- 昭和55年 4 月 1 日 附属病院理学療法部設置
- 昭和56年 4 月 1 日 附属病院輸血部設置
- 昭和57年 4 月 1 日 附属脳卒中研究施設に神経内科部門設置 (4部門)
附属病院形成外科設置 (18診療科)
- 昭和59年 4 月 11日 附属病院集中治療部設置
- 昭和62年 5 月21日 医学部臨床検査医学講座設置 (18臨床講座)
- 昭和63年 4 月 8 日 医学部事務局及び附属病院事務局が事務組織一元化により医学部事務局 (総務課・管理課・学務課・医事課) に改組
- 平成 元年 5 月29日 附属脳神経疾患研究施設設置 (神経病理部門・病態生理部門・リハビリテーション部門・臨床神経部門・遺伝子工学部門) (附属脳卒中研究施設の改組)
- 平成 3 年 4 月12日 附属病院分娩部を附属病院周産母子センターに改組
- 平成 5 年 4 月 1 日 附属病院病理部設置
- 平成 6 年 8 月 1 日 特定機能病院承認 (厚生省収健政第265号)
- 平成 7 年 4 月 1 日 医学部形成外科学講座設置 (19臨床講座)
- 平成 8 年 3 月 5 日 医学部コミュニケーションセンター寄附
- 平成 8 年 4 月 1 日 附属病院医療情報部設置
- 平成 9 年 4 月 1 日 医学部老年科学講座設置 (20臨床講座)
附属病院小児外科設置 (19診療科)
- 平成10年 4 月 9 日 附属病院光学医療診療部設置
- 平成11年 4 月 1 日 医学部臨床薬理学講座設置 (21臨床講座)
附属脳神経血管病態研究施設設置 (分子病態部門・脳血管病態部門・機能回復部門・神経統御部門・細胞工学部門) (附属脳神経疾患研究施設の廃止)
- 平成12年10月 1 日 医学部保健学科設置**
- 平成14年 4 月 1 日 附属病院理学療法部を附属病院リハビリテーション部に改組
- 平成15年 4 月 1 日 医学部救急・災害医学講座設置 (22臨床講座)
附属病院総合診療部設置
- 平成16年 4 月 1 日 国立大学法人法により弘前大学医学部設置**
大学院 (医学研究科) が5専攻 (生理系・病理系・社会医学系・内科系及び外科系) から1専攻 (医科学) に改組
- 平成17年 3 月31日 附属脳神経血管病態研究施設 細胞工学部門の廃止



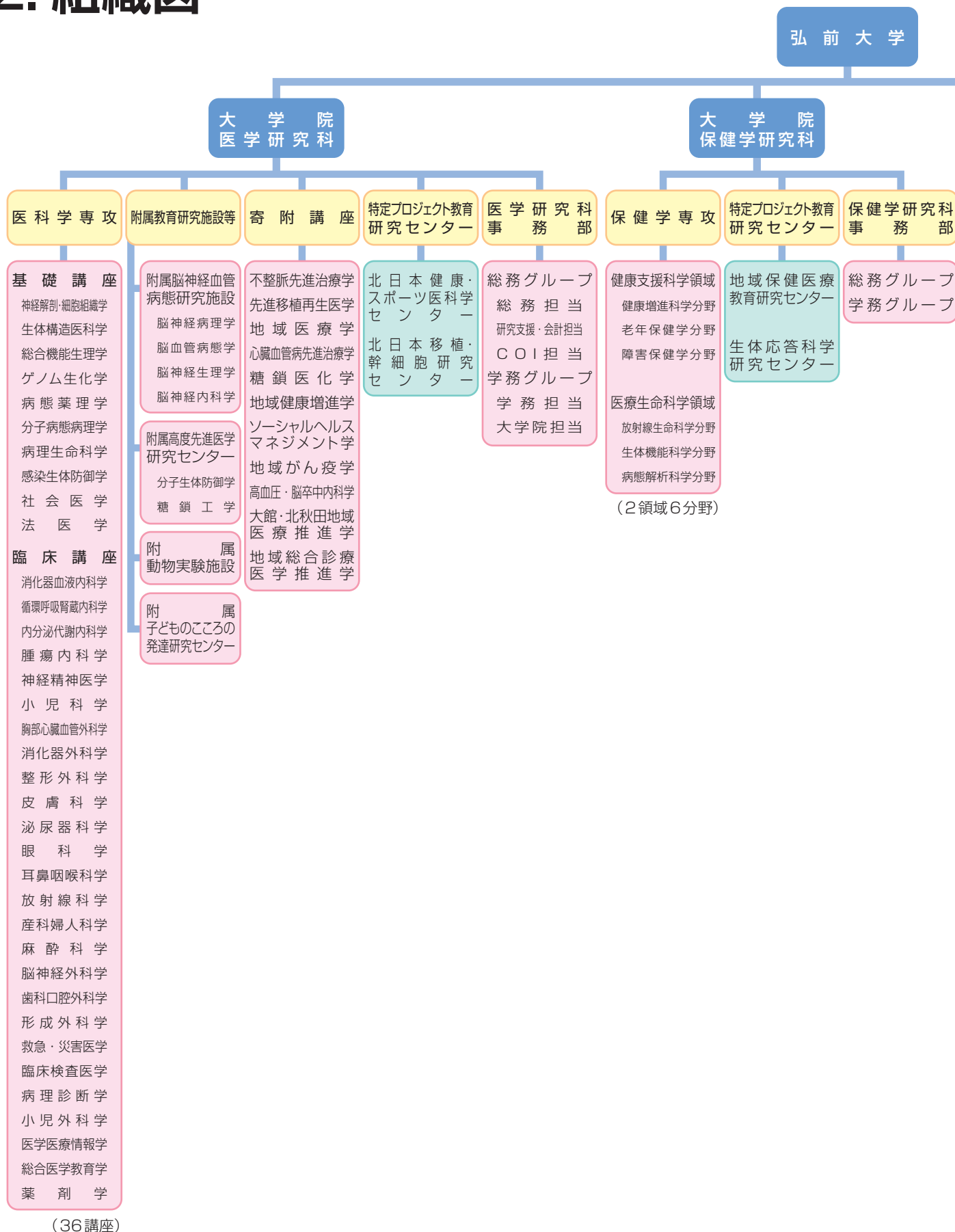
▲大学院保健学研究科・医学部保健学科

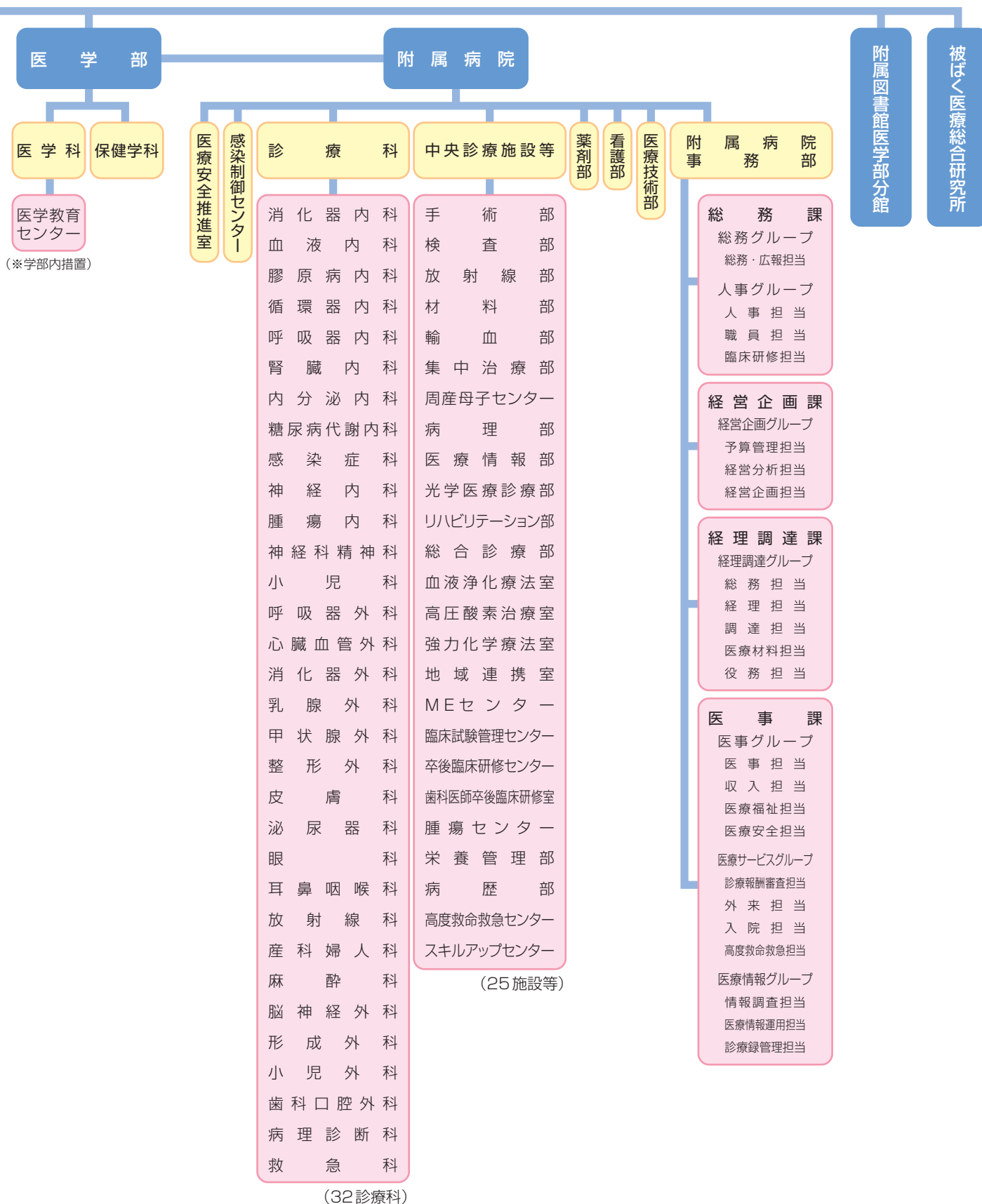
- 平成17年 4 月 1 日 医学部衛生学講座と公衆衛生学講座を改組し、社会医学講座を設置 (13基礎講座)
 附属高度先進医学研究センター設置
 大学院医学研究科が医学系研究科 (医科学専攻・保健学専攻) に改組
 附属病院神経内科設置 (20診療科)
 附属病院第一内科が消化器内科・血液内科・膠原病内科に、第二内科が循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科に、第三内科が内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科に、第一外科が呼吸器外科・心臓血管外科に、第二外科が消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科と改称
 医学部事務部を医学部事務部 (医学科総務グループ・医学科学務グループ・保健学科グループ) と医学部附属病院事務部 (総務課・管理課・医事課・経営企画室) に分離改組
- 平成17年 4 月 8 日 ISO9001 認証取得
- 平成18年 4 月 1 日 病院長専任 (学長特別補佐)
- 平成18年10月 1 日 医学部細菌学講座と寄生虫学講座を改組し、感染生体防御学講座を設置 (12基礎講座)
- 平成19年 1 月31日 地域がん診療連携拠点病院に指定
- 平成19年 2 月 1 日 医学部腫瘍内科学講座設置 (23臨床講座)
- 平成19年 4 月 1 日 大学院医学系研究科を大学院医学研究科に改組し、部局化
 大学院医学研究科に神経解剖・細胞組織学講座、生体構造医科学講座、統合機能生理学講座、ゲノム生化学講座、病態薬理学講座、分子病態病理学講座、病理生命科学講座、感染生体防御学講座、社会医学講座、法医学講座、消化器血液内科学講座、循環呼吸腎臓内科学講座、内分泌代謝内科学講座、腫瘍内科学講座、神経精神医学講座、小児科学講座、胸部心臓血管外科学講座、消化器外科学講座、整形外科科学講座、皮膚科学講座、泌尿器科学講座、眼科学講座、耳鼻咽喉科学講座、放射線科学講座、産科婦人科学講座、麻酔科学講座、脳神経外科学講座、歯科口腔外科学講座、形成外科学講座、救急・災害医学講座、臨床検査医学講座、臨床薬理学講座、小児外科学講座、医学医療情報学講座、総合診療医学講座、薬剤学講座を設置 (36講座)
 大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設に脳神経病理学講座、脳血管病態学講座、脳神経生理学講座、脳神経内科学講座を設置 (4講座)
 大学院医学研究科附属高度先進医学研究センターに分子生体防御学講座、糖鎖工学講座を設置 (2講座)
 大学院保健学研究科を設置し、部局化 (2領域6分野)
 附属病院腫瘍内科設置 (21診療科)
 医学部事務部が医学研究科事務部 (医学研究科総務グループ・医学研究科学務グループ) と保健学研究科事務部 (保健学研究科総務グループ・保健学研究科学務グループ) に分離改組
- 平成20年 4 月 1 日 附属病院事務部を4課 (総務課・経営企画課・経理調達課・医事課) に改組
- 平成21年 5 月18日 大学院医学研究科臨床薬理学講座を廃止 (35講座)
- 平成22年 3 月12日 ISO9001:2008に改訂
- 平成22年 4 月 1 日 附属病院救急部を廃止し、附属病院高度救命救急センターを設置
- 平成22年 5 月 1 日 大学院医学研究科に病理診断学講座設置 (36講座)
- 平成22年 6 月 1 日 大学院医学研究科総合診療医学講座を改組し、総合医学教育学講座を設置 (36講座)

- 平成22年10月1日 附属病院消化器内科・血液内科・膠原病内科が消化器内科、血液内科、膠原病内科に、循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科が循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科に、内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科が内分泌内科、糖尿病代謝内科、感染症科に、呼吸器外科・心臓血管外科が呼吸器外科、心臓血管外科に、消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科が消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科と改称（30診療科）
- 平成24年11月21日 附属病院スキルアップセンター設置
- 平成25年4月1日 附属病院病理診断科設置（31診療科）
附属病院医療技術部設置
- 平成25年7月1日 附属病院治験管理センターを附属病院臨床試験管理センターに改組
- 平成26年4月1日 大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センター設置
- 平成26年4月1日 附属病院救急科設置（32診療科）



2. 組織図





3. 職員

(1) 歴代研究科長・医学部長・附属病院長

大学院医学研究科長

氏名	就任年月
佐 藤 敬	平成19年 4 月
中 路 重 之	平成24年 2 月

大学院保健学研究科長

氏名	就任年月
對 馬 均	平成19年 4 月
木 田 和 幸	平成26年 4 月

医学部長

氏名	就任年月
丸 井 清 泰	昭和24年 5 月
工 藤 喬 三	昭和28年 8 月（事務取扱）
工 藤 喬 三	昭和28年11月
佐 藤 熙	昭和30年11月
片 桐 主 一	昭和37年 2 月
中 村 勉	昭和37年 5 月
佐 藤 光 永	昭和41年 5 月
臼 渕 勇	昭和45年 5 月
松 永 藤 雄	昭和47年 2 月
大 池 弥三郎	昭和50年 4 月
東 野 修 治	昭和53年 2 月
山 口 富 雄	昭和61年 2 月
吉 田 豊	昭和63年 2 月
福 士 主 計	平成 4 年 2 月
吉 田 豊	平成 6 年 2 月
遠 藤 正 彦	平成 8 年 2 月
菅 原 和 夫	平成14年 2 月
兼 子 直	平成16年 2 月
佐 藤 敬	平成18年 2 月
中 路 重 之	平成24年 2 月

附属病院長

氏名	就任年月
副 島 廉 治	昭和20年 4 月（青森医学専門学校）
丸 井 清 泰	昭和24年 4 月（青森医学専門学校）
副 島 廉 治	昭和24年 6 月
榎 哲 夫	昭和26年 6 月
片 桐 主 一	昭和28年 6 月
杉 山 萬喜蔵	昭和31年 6 月
榎 哲 夫	昭和32年 1 月（事務取扱）
入野田 公 穂	昭和32年 3 月
松 永 藤 雄	昭和34年 6 月
大 池 弥三郎	昭和38年 6 月
石 川 義 信	昭和42年 6 月
大 内 清 太	昭和45年 4 月
栗田口 省 吾	昭和48年 4 月
泉 幸 雄	昭和51年 4 月
帷 子 康 雄	昭和54年 4 月
篠 崎 達 世	昭和57年 4 月
品 川 信 良	昭和60年 4 月
舟 生 富 壽	昭和62年 4 月
小 野 慶 一	平成 元 年 4 月
武 部 和 夫	平成 3 年 4 月
福 島 裕	平成 6 年 4 月
今 充	平成 7 年 4 月
橋 本 功	平成 9 年 4 月
原 田 征 行	平成11年 4 月
鈴 木 唯 司	平成13年 4 月
棟 方 昭 博	平成16年 4 月
花 田 勝 美	平成18年 4 月（専任）
藤 哲	平成24年 4 月（専任）

(2) 役職員

大学院医学研究科

医学研究科	長	教授	中廣	路田	重和	之美
副研究科	長	教授	廣若	田林	孝	一健
附属脳神経血管病態研究施設	長	教授	伊上	東野	仲和	哉彦
附属高度先進医学研究センター	長	教授	中	村		
附属動物実験施設	長	教授				
附属子どものこころの発達研究センター	長	教授				

医科学専攻

●基礎講座

神経解剖・細胞組織学講座	教授(兼)	下田	田成	浩潔
生体機能・生化学講座	教授	藏土	田成	紀学
ゲノム・生化学講座	教授	村八	木橋	六宏
病態・薬理病理学講座	教授	鬼中	島根	夫之
分子・生命科学講座	教授	中黒	路田	人
感染症・社会医学講座	教授			

●臨床講座

消化器呼吸・腎臓内科学講座	教授	福奥	田村	眞	作謙
循環・内分泌・代謝内科学講座	教授	大佐	門藤	和悦	眞温
神経・精神医学講座	教授	中伊	村藤	幾健	彦朗
小児心臓血管外科科学講座	教授	福袴	田橋	一之	輔力
胸部・消化器外科科学講座	教授	石澤	村山	恭大	満
整形外科科学講座	教授	大	澤		
泌尿器科学講座	教授				
眼科科学講座	教授				
耳鼻咽喉科科学講座	教授	高水	井沼	良英	尋樹
放射線・婦人科学講座	教授	廣大	田熊	和洋	美揮
脳神経外科科学講座	教授	木漆	村館	博聡	人志
歯形成・外科・災害医学講座	教授				
救急・臨床検査医学講座	教授	萱黒	場瀬	広健	之蹟
小児医療学講座	教授(兼)	袴佐	田木	賀博	一広
医学総合医薬剤学講座	教授	早	狩		誠

附属教育研究施設等

●附属脳神経血管病態研究施設

脳神経病態理学講座	教授	若今	林泉	孝忠	一淳
脳神経病態理学講座	教授	上東	野海	伸幹	哉夫

事務部													
						事務長		中村勝之					
医学部													
医副	属	図	学学	学学	部部	分	館長	教教	授授	中廣	路田	重和	之美幸潔
副			書	館	医	学	部	教	授	藏	田		
医学科													
医副			学学		科科		長長	教教	授授	中廣	路田	重和	之美
保健学科													
保副		健	学学	学	科科		長長	教教	授授	木中	田村	和敏	幸也子
副								教	授	齋	藤	陽	
								教	授				
附属病院													
附副		属	病病	病	院院		長長	(専任)		藤福	田熊	眞洋	哲作
副			院院	長長	補補		長長	教教	授授	大加	藤村	博大	揮之
病病			院院	長長	補補		佐佐	教教	授授	澤大	山林	朱和	輔力
病病			院院	長長	補補		佐佐	教教	授授	小大	徳場	和広	実之
病病								看護部長	教授				
								センター長(併)	教授				
●医療安全推進室													
●感染制御センター													
●診療科													
消血		化	液	器	内	科	科	科長(併)	教授	福福	田田	眞眞	作作
膠循		原	臟	病	内	科	科	科長(併)	教授	福福	田田		作作
呼吸		環	分	器	内	科	科	科長(併)	教授	奥奥	村村		謙謙
腎内		吸	臟	泌	内	科	科	科長(併)	教授	奥奥	村村		謙謙
糖感		尿	病	代	謝	科	科	科長(併)	教授	大大	門門		眞眞
神腫			染		症	科	科	科長(併)	教授	東海	林	幹	夫温
小呼		経	傷	科	内	科	科	科長(併)	教授	佐中	藤村	和悦	彦朗
心消		吸	血	児	精	科	科	科長(併)	教授	伊福	田田	幾幾	夫夫
乳甲		臟	血	器	管	科	科	科長(併)	教授	福福	田田	健健	一一
整皮		化	腺	腺	外	科	科	科長(併)	教授	袴袴	田田	健健	一一
分泌		状	形	膚	外	科	科	科長(併)	教授	袴袴	田田	健健	一一
眼耳		尿	尿		器	科	科	科長(併)	教授	石澤	村山		輔力
放産		鼻	射	咽	喉	科	科	科長(併)	教授	大中	澤		満
麻腦		科	成	婦	線	科	科	科長(併)	教授	高水	井沼	良英	樹美
形		神		醉	外	科	科	科長(併)	教授	廣大	熊舘	和洋	揮志
				經		科	科	科長(併)	教授				

4. 大学院医学研究科・大学院保健学研究科・医学部

(1) 学生定員及び現員

イー a 学部学生(医学科)

(平成26年5月1日現在)

区分 \ 学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	研究生
医 学 科	定員	112	107	105	105	105	100	734	
			20	20	20	20	20		
	現員	115 (46)	112(41)	115(45)	114(37)	100(25)	94(37)	735 (247)	4 (0)
			0	21(6)	21(0)	21(4)	22(6)		

(注1) 2～6年次における、定員の下段の数字は編入学定員を表し、現員の下段の数字は、編入学学生数を表す。

(注2) () 内数字は、女子を内数で示す。

イー b 学部学生(保健学科)

(平成26年5月1日現在)

専攻別 \ 学 年		保 健 学 科				合 計
		1 年	2 年	3 年	4 年	
看 護 学 専 攻	定 員	80	80	80	80	340
				10	10	
	現 員	80 (66)	79 (67)	79(61)	82(68)	332 (274)
				5(5)	7(7)	
放射線技術科学専攻	定 員	40	40	40	40	170
				5	5	
	現 員	40 (14)	40 (15)	40(10)	42(9)	162 (48)
				0	0	
検査技術科学専攻	定 員	40	40	40	40	170
				5	5	
	現 員	40 (33)	39 (23)	39(31)	44(28)	167 (120)
				4(4)	1(1)	
理学療法学専攻	定 員	20	20	20	20	90
				5	5	
	現 員	20 (12)	20 (12)	21(7)	23(8)	84 (39)
				0	0	
作業療法学専攻	定 員	20	20	20	20	90
				5	5	
	現 員	20 (12)	20 (14)	20(12)	20(15)	80 (53)
				0	0	
合 計	定 員	200	200	200	200	860
				30	30	
	現 員	200 (137)	198 (131)	199(121)	211(128)	825 (534)
				9(9)	8(8)	

(注1) 3年次、4年次定員の下段の数字は編入学定員を表し、現員の下段の数字は編入学学生数を表す。

(注2) () 内数字は、女子を内数で示す。

□-a 大学院学生[医学研究科医科学専攻]

(平成26年5月1日現在)

領 域			学 年				
			1年	2年	3年	4年	研究生
医学研究科	分子遺伝情報科学	現員	0	0	0	1	6 (2)
	脳神経科学	現員	3	3 (2)	9 (4)	9 (3)	
	腫瘍制御科学	現員	8 (2)	8 (1)	11 (3)	15 (7)	
	循環病態科学	現員	4	6 (1)	0	4	
	機能再建・再生科学	現員	5	5 (1)	6	4 (1)	
	総合医療・健康科学	現員	11 (5)	7 (2)	8 (2)	21 (8)	
	感覚統合科学	現員	4 (1)	6 (2)	0	1	
	病態制御科学	現員	7 (4)	8 (4)	9 (3)	10 (3)	
	成育科学	現員	3 (3)	2 (2)	4 (1)	5 (2)	
	合 計	定員	50	50	50	50	6 (2)
		現員	45 (15)	45 (15)	47 (13)	70 (24)	

(注) () 内数字は、女子を内数で示す。

□-b 大学院学生[保健学研究科(博士前期課程)]

(平成26年5月1日現在)

領 域			学年
			4年
医学系研究科	脳神経科学	現員	1 (1)
	合 計	現員	1 (1)

※医学系研究科は留年のため現員のみ計上

(平成26年5月1日現在)

領域		学年		
		1年	2年	小計
看護学	現員	7 (6)	5 (4)	12 (10)
生体情報科学	現員	5 (1)	5 (2)	10 (3)
生体機能科学	現員	5 (1)	1 (0)	6 (1)
総合リハビリテーション科学	現員	13 (7)	21 (9)	34 (16)
合 計	定員	25	25	50
	現員	30 (15)	32 (15)	62 (30)

□-c 大学院学生[保健学研究科(博士後期課程)]

(平成26年5月1日現在)

領域		学年			
		1年	2年	3年	小計
健康支援科学	現員	8 (6)	6 (3)	6 (2)	20 (11)
医療生命科学	現員	3 (2)	8 (3)	2 (0)	13 (5)
合 計	定員	9	9	9	27
	現員	11 (8)	14 (6)	8 (2)	33 (16)

(注) () 内数字は、女子を内数で示す。

(2) 学位授与数

(平成26年3月31日現在)

種 類	授 与 数					
	平成25年度			新制累計		旧制総計
	課程修了	論文審査	計	課程修了	論文審査	
博 士(医 学)	58	1	59	1,861	881	469
				2,742		
修 士(保健学)	20	—	20	186	—	
				186		
博 士(保健学)	13	0	13	47	1	
				48		

(3) 外国人留学生数

(平成26年3月31日現在)

国 籍	学部学生		大学院学生		研究生等		合 計	
	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費
中華人民共和国				5				5
大 韓 民 国		2						2
マレーシア		1						1
ミャンマー		1						1
タ イ				1				1
合 計		4		6				10

(注) () 内数字は、女子を内数で示す。

(4) 解剖体数

イ 系統解剖

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
解 剖 体 数	33	34	41	27	27	31
収 集 体 数	23	36	32	36	48	41

ロ 病理解剖

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
解 剖 体 数	27	21	28	20	13	15

ハ 法医学講座における解剖

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
法 医 解 剖	87	71	1	146	204	216

(5) 図書・雑誌 (医学部分館)

(平成26年3月31日現在)

図 書		合 計	雑 誌		合 計
和漢書	洋 書		和雑誌	洋雑誌	
98,552 冊	74,845 冊	173,397 冊	4,114 種	2,463 種	6,577 種

(6) 国際交流協定

締 結 大 学	国 名	締 結 年 月 日
テネシー大学保健科学センター	ア メ リ カ 合 衆 国	昭和57年 5 月 19 日
中 国 医 科 大 学	中 華 人 民 共 和 国	平成17年 10 月 25 日
ストックホルム大学放射線防護研究センター	スウェーデン王国	平成25年 3 月 6 日

(7) 附属脳神経血管病態研究施設

本施設は脳卒中の基礎及び臨床研究と、その実地応用を目的に昭和40年に設置された「脳卒中研究施設」に始まる。当初、成因部門（昭和40年）と病態生理部門（昭和42年）の基礎2部門が設置され、その後、リハビリテーション部門（昭和52年）、神経内科部門（昭和57年）の2部門が加えられた。平成元年に存続期限10年の「脳神経疾患研究施設」に改組され、神経病理、病態生理、リハビリテーション、臨床神経の4部門に加え、遺伝子工学部門（客員）が設置された。広く脳神経疾患の成因・病態の解明、診断法の確立、治療・社会復帰促進などに関する研究の推進を目指した。

平成11年に現行の施設となり、分子病態、脳血管病態、機能回復、神経統御の各部門と細胞工学部門（客員）から構成されることになった。平成17年には細胞工学部門を廃止し、新たに設置された高度先進医学研究センターにその機能を発展的に引き継ぎ、本施設は4部門構成となった。平成19年4月の大学院部局化に伴い、本施設は医学研究科の附属施設となり、各部門も大学院講座として名称を改めた。現在、各講座の主たる研究課題は、脳神経病理学講座が脳神経疾患の病理診断・病態メカニズムの解析、脳血管病態学講座が脳血管障害および関連病態の分子機構の解明、脳神経生理学講座が脳スライスパッチクランプや細胞イメージングを用いた脳の生理機能並びに神経傷害時の機能解析、脳神経内科学講座が神経変性疾患や認知症の病態解明と治療法の開発に関する研究である。

(8) 附属高度先進医学研究センター

本センターは専任の研究部門と共同研究施設としての機能を備え、分子生物学を基盤とした基礎医学と臨床医学の融合的研究を推進する目的で平成17年に設置された。専任の研究グループは自ら先進的研究を進めるとともに、高度な分子生物学的研究技術をもって、同センターを共同施設として利用する全学の他の研究グループとの共同研究や研究支援を実施する。研究は、酸化ストレスに対する生体の防御機構の解析と酸化ストレスが疾患形成に果たす役割の解析が中心である。

(9) 附属動物実験施設

本施設は、実験動物の飼養管理の充実を図り、精度の高い動物実験による高度な研究・教育の推進を目指し、昭和54年4月に開設された。管理部・中動物部・小動物部及び特殊動物部（遺伝子改変動物・感染動物等）からなり、医学研究科のみならず、全学共同利用の施設である。

(10) 附属子どものこころの発達研究センター

全国的に子どものこころへの対策が行き渡らない要因として、子どものこころに関する研究者・専門家が少ないことが挙げられます。東北地区も支援が十分に行きわたらず、東北地区全体の児童・生徒のこころに対する支援が早急な課題となっています。本センターは、平成26年4月に設置され、子どものこころの問題に関する医療的支援や教育・研究活動を進め、東北地区の子どもに対する支援体制の整備及び研究拠点の創生を目指しています。これらの事業は医学部、保健学部、教育学部他、東北各県の教育委員会、青森県、弘前市が連携しながら進めます。センターは4部門から構成されます。

■児童精神医学診療・研究部門

子どもの児童精神医学的な問題に関し、早急な対応が必要な地域へ、医師・臨床心理士を派遣し、診療を行うことで、こころの問題の早期発見・治療、支援を行います。

■コホート研究部門

子どものこころの疾患とそれに影響を及ぼす生活習慣など、発症予測システムを構築します。

■病態解析・治療開発部門

子どものこころの病態メカニズム解析に加え、予防的な方策を開発することで、児童精神医学的疾患の治療法・予防法の開発を行います。

■こころの地域ネットワーク支援室

各地方自治体とネットワークを形成し、東北地区におけるこどもの児童精神医学的問題に関し会議形式でのディスカッションや遠隔相談・情報集積ネットワークを構築し、それを利用した相談等を行い、こころの問題の早期発見・こころの発達支援を行います。

上記4つの部門を融合しながら活動することにより、子どものこころの問題の支援及び予防法の確立を目指すとともに、各地で支援を行っている機関と連携して子どものこころに関する専門家やケアを行える人材を育成することで、支援体制を拡充・整備していきます。



5. 附属病院

使 命

生命倫理に基づいた最先端の医療、医学教育及び研究を实践し、患者の心身に健康と希望をもたらすことにより、地域社会に貢献することである。

◀附属病院航空写真

(1) 診療科別病床数

(平成26年4月1日現在)

診療科名	実 在 病 床 数							
	差 額 病 床					重症 加算	普通	計
	① 11,880円	② 6,480円	③ 5,400円	④ 4,320円	⑤ 1,080円			
消化器内科／血液内科／膠原病内科	1	2				1	33	37
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	1		2	1		4	41(51)	49(59) ※1
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	1		2			3	30	36
神 經 内 科						3	6	9
腫 瘍 内 科						1	9	10
神 経 科 精 神 科							41	41
小 児 科						4	33	37
呼吸器外科／心臓血管外科			3	2		5	15	25
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科			2	2		5	36	45
整 形 外 科			2	1		3	38	44
皮 膚 科				1		1	10	12
泌 尿 器 科			2	1		2	32	37
眼 科			2	2			28	32
耳 鼻 咽 喉 科			2			2	32	36
放 射 線 科				1			18	19
産 科 婦 人 科		2	2		4	1	29	38
麻 酔 科						2	4	6
脳 神 経 外 科			1	1		5	20	27
形 成 外 科			1			2	12	15
小 児 外 科				1		1	4	6
歯 科 口 腔 外 科							10	10
感 染 症 床							6	6
共 通 病 床				2			4	6
R I C U							5	5
I C U							16	16
N I C U							4	4
G C U							6	6
高度救命救急センター							10	10
合 計	3	4	21	15	4	45	552	644 ※2

※1 ()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。

※2 ()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

(2) 患者数

イ 診療科別患者数

(平成25年度)

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／膠原病内科	12,318 人	33.7 人	28,489 人	116.8 人
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	21,817	59.8	26,697	109.4
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	10,320	28.3	25,483	104.4
神 經 内 科	2,595	7.1	6,137	25.2
腫 瘍 内 科	3,669	10.1	5,315	21.8
神 經 科 精 神 科	7,669	21.0	24,840	101.8
小 児 科	13,819	37.9	7,908	32.4
呼吸器外科／心臓血管外科	9,687	26.5	4,963	20.3
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	15,252	41.8	15,251	62.5
整 形 外 科	16,871	46.2	37,289	152.8
皮 膚 科	4,515	12.4	16,643	68.2
泌 尿 器 科	12,992	35.6	17,290	70.9
眼 科	7,875	21.6	26,779	109.8
耳 鼻 咽 喉 科	11,731	32.1	14,863	60.9
放 射 線 科	7,377	20.2	44,815	183.7
産 科 婦 人 科	11,609	31.8	23,834	97.7
麻 酔 科	833	2.3	15,681	64.3
脳 神 經 外 科	10,716	29.4	6,957	28.5
形 成 外 科	5,033	13.8	3,837	15.7
小 児 外 科	2,452	6.7	2,029	8.3
総 合 診 療 部	—	—	506	2.1
高度救命救急センター	602	1.6	711	2.9
歯 科 口 腔 外 科	3,599	9.9	12,530	51.4
合 計	193,351	529.7	368,847	1,511.7

外来診療実日数244日

ロ 救急患者数

(平成25年度)

月 別	2013 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014 1月	2月	3月	合計
患者数(人)	380	365	405	407	402	394	368	414	405	451	345	332	4,668

ハ 年度別患者数

区 分 年度別	入 院					外 来	
	病床数	患者数	1日平均	稼働率	平均在院日数	患者数	1日平均
平成21年度	618 床	194,636人	533.2 人	86.3 %	18.7 日	357,674人	1,478.0 人
平成22年度	636	196,616	538.7	84.8	18.0	361,296	1,493.0
平成23年度	636	194,669	531.9	83.6	17.3	370,401	1,518.0
平成24年度	636	192,027	526.1	82.7	16.9	370,474	1,512.1
平成25年度	644	193,351	529.7	82.6	16.9	368,847	1,511.7

(3) 臨床検査件数

(平成25年度)

区 分	入 院	外 来	合 計
尿・糞便等検査	47,046 件	50,839 件	97,885 件
血液学的検査	202,258	206,841	409,099
生化学的検査(1)	1,043,316	1,031,577	2,074,893
生化学的検査(2)	31,966	113,115	145,081
免疫学的検査	104,038	140,856	244,894
微生物学的検査	15,409	8,698	24,107
呼吸循環機能検査等	18,608	21,497	40,105
超音波検査等	7,022	13,753	20,775
監視装置による諸検査	50,951	1,802	52,753
脳波検査等	257	838	1,095
神経・筋検査	161	2,291	2,452
耳鼻咽喉科学的検査	334	6,053	6,387
眼科学的検査	21,502	86,555	108,057
皮膚科学的検査	0	170	170
臨床心理・神経心理検査	204	886	1,090
負荷試験等	2,356	678	3,034
内視鏡検査	1,032	9,003	10,035
診断穿刺・検体採取	2,464	72,700	75,164
病理診断	6,833	8,934	15,767
分類コードに未収載	2	0	2
合 計	1,555,759	1,777,086	3,332,845



▲外来診療棟1階がん診療相談支援室、がんサロン、肝疾患相談センター



▲ドクターカー

(4) 放射線検査数及び治療件数

(平成25年度)

大 分 類	中 分 類	入院患者数 (人)	外来患者数 (人)	合 計
一般撮影 (単純)	呼吸器・循環器	9,937	19,082	29,019
	消化器	3,018	2,144	5,162
	骨部	2,698	12,930	15,628
	軟部	52	409	461
	歯部	334	3,134	3,468
	歯科用CT	3	261	264
	ポータブル撮影	13,039	1,423	14,462
	手術室撮影	2,931	6	2,937
	特殊撮影			
一般撮影 (造影)	その他	47	165	212
	単純造影撮影	176	340	516
	呼吸器	19	24	43
	消化器	565	451	1,016
	泌尿器	255	475	730
	瘻孔造影	165	15	180
	肝臓・胆嚢・膵臓造影	127	31	158
	婦人科骨盤腔臓器造影	1	103	104
	非血管系IVR	54	6	60
血管造影検査	その他	340	37	377
	頭頸部血管造影 (検査)	318	6	324
	頭頸部血管 (IVR)	82	40	122
	心臓カテーテル法 (検査)	688	5	693
	心臓カテーテル法 (IVR)	933	8	941
	胸・腹部血管造影 (検査)	2	52	54
	胸・腹部血管造影 (IVR)	26	163	189
	四肢血管造影 (検査)		2	
	四肢血管造影 (IVR)	5	10	15
X線CT検査	その他	3	1	4
	単純CT検査	2,771	4,703	7,474
	造影CT検査	2,676	8,047	10,723
	特殊CT検査 (管腔描出を行った場合)			
MRI検査	その他	812	234	1,046
	単純MRI検査	867	3,060	3,927
	造影MRI検査	710	1,935	2,645
	特殊MRI検査 (管腔描出を行った場合)			
間接撮影 (単純)	その他			
	呼吸器・循環器			
核医学検査 (in-vivo検査) (体外からの計測に よらない諸検査等)	その他			
	SPECT	103	214	317
	全身シンチグラム	154	264	418
	部分 (静態) シンチグラム	17	51	68
	甲状腺シンチグラム	1	19	20
	部分 (動態) シンチグラム	14	24	38
	ポジトロン断層撮影	5	1,748	1,753
	循環血液量測定			
	血球量測定			
	赤血球寿命・吸収機能			
	血小板寿命・造血機能			
核医学検査 (in-vitro検査)	その他			
	院内in-vitro検査			
骨塩定量	骨塩定量	164	478	642
超音波検査	超音波検査			
その他	その他			
放射線治療	X線表在治療			
	コバルト60遠隔照射			
	ガンマナイフ定位放射線治療			
	高エネルギー放射線照射	11,283	3,838	15,121
	術中照射			
	直線加速器定位放射線治療	47		
	全身照射	3		
	放射線粒子照射			
	密封小線源・外部照射			
	内部照射	66	6	72
	血液照射	17		
	温熱治療			
	その他	78	6	84
治療計画	治療計画	604	198	802

(5) 手術及び麻酔件数

(平成25年度)

区 分	手 術 件 数						麻 酔 件 数		
	0～999点	1,000～2,999点	3,000～4,999点	5,000～9,999点	10,000点以上	計	0～999点	1,000点以上	計
消化器内科／血液内科／膠原病内科		3	66	151	300	520	1		1
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	7	11	192	156	908	1,274	155	17	172
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科						0			0
神 經 内 科						0			0
腫 瘍 内 科		3			1	4			0
神 經 科 精 神 科	3	1				4			0
小 児 科	3	8			3	14	441	11	452
呼吸器外科／心臓血管外科	9	17	146	101	623	896	204	1,143	1,347
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	16	51	4	61	650	782	4	874	878
整 形 外 科	6	58	70	120	779	1,033	158	837	995
皮 膚 科	20	163	75	18	147	423	4	74	78
泌 尿 器 科	7	12	63	36	350	468	121	534	655
眼 科	37	125	62	23	870	1,117	551	136	687
耳 鼻 咽 喉 科	96	209	177	48	200	730		412	412
放 射 線 科				1	161	162	20		20
産 科 婦 人 科	20	139	110	6	352	627	210	388	598
麻 酔 科						0	17	8	25
脳 神 經 外 科	25	25	2	1	382	435	4	279	283
形 成 外 科	48	155	154	86	166	609	6	306	312
小 児 外 科	1	14	16	49	124	204	36	296	332
総 合 診 療 部						0			0
高度救命救急センター	7	10	2	1	3	23	2	1	3
歯 科 口 腔 外 科	1,476	559	14	8	125	2,182		147	147
合 計	1,781	1,563	1,153	866	6,144	11,507	1,934	5,463	7,397

※1 手術及び麻酔件数は、手術部以外の分を含んだ件数である。

※2 麻酔件数には、硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入、低体温療法、神経ブロックを含まない。

(上表のうち麻酔科医師が実施した麻酔件数 0～999点 72件、1,000点以上 3,808件、計3,880件)

(6) 分娩数及び出生児数

平成23年度				平成24年度				平成25年度			
超低出生体重児	極低出生体重児	低出生体重児	新生児	超低出生体重児	極低出生体重児	低出生体重児	新生児	超低出生体重児	極低出生体重児	低出生体重児	新生児
0	3	36	265	1	2	50	258	0	1	42	246
正常分娩	異常分娩	計		正常分娩	異常分娩	計		正常分娩	異常分娩	計	
202	106	308		197	122	319		170	122	292	

※1 体重による新生児区分

超低出生体重児＜1,000g ≤ 極低出生体重児＜1,500g ≤ 低出生体重児＜2,500g ≤ 新生児

※2 分娩数には死産数を含むが、出生児数には含まない。

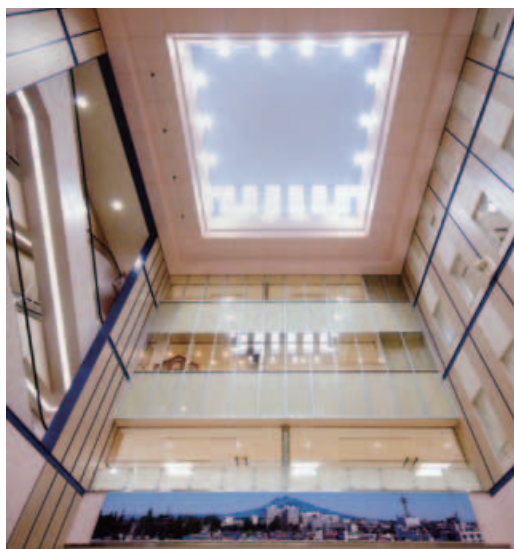
※3 異常分娩は吸引分娩・鉗子分娩・骨盤位分娩・帝王切開・死産

※4 多胎の分娩はそれぞれの児についての分娩様式を数えた。

(7) 患者給食数 (買上)

(平成25年度)

区 分			給 食 数		
			特別食の加算のできるもの	そ の 他	計
一 般 食				242,962	242,962
特 別 食	腎臓病食	腎 炎 食	462	92	554
		ネ フ ロ ー ゼ 食	1,417		1,417
		腎 不 全 食	12,434		12,434
		透 析 食			0
	妊 娠 高 血 圧 症 候 群 食		631	853	1,484
	高 血 圧 食			8,233	8,233
	心 臓 食		37,289	246	37,535
	肝 臓 食	肝 炎 食	844	257	1,101
		肝 硬 変 食	2,495		2,495
	糖 尿 病 食		56,677		56,677
	胃 潰 瘍 食		4,453	2,949	7,402
	術 後 食		5,010	8,764	13,774
	濃 厚 流 動 食				0
	治 療 乳			1,327	1,327
	検 査 食			690	690
	フ ェ ニ ー ル ケ ト ン 尿 食				0
	脾 臓 食		1,010	24	1,034
	痛 風 食		65		65
	脂 質 異 常 症 食		3,782		3,782
	そ の 他		482	67,048	67,530
計		127,051	90,483	217,534	
合 計			127,051	333,445	460,496



◀ 外来診療棟 1 階中央待合ホール

(8) 処方枚数・処方件数・処方剤数・その他

区 分		平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		枚 数	件 数	剤 数	枚 数	件 数	剤 数	枚 数	件 数	剤 数
調 剤 薬	入 院	89,402	153,436	1,458,996	88,541	154,398	1,327,150	89,322	154,215	1,425,350
	外 来	14,451	40,695	1,196,205	14,841	42,343	1,236,005	14,865	40,283	1,177,364
	計	103,853	194,131	2,655,201	103,382	196,741	2,563,155	104,187	194,498	2,602,714
調 剤 薬 (麻 薬)	入 院	2,854	2,854	15,196	4,149	4,149	26,588	3,436	3,436	29,214
	外 来	1,586	1,586	12,795	405	405	7,480	414	414	9,299
	計	4,440	4,440	27,991	4,554	4,554	34,068	3,850	3,850	38,513
注 射 薬	入 院	137,655	401,630	888,001	136,123	348,149	757,565	137,604	389,178	817,755
	外 来	18,579	22,941	38,204	17,911	19,252	31,070	18,488	23,988	37,537
	計	156,234	424,571	926,205	154,034	367,401	788,635	156,092	413,166	855,292
注 射 薬 (麻 薬)	入 院	15,299	15,299	29,191	16,100	16,100	31,301	17,743	17,743	37,537
	外 来	218	218	300	233	233	349	150	150	316
	計	15,517	15,517	29,491	16,333	16,333	31,650	17,893	17,893	37,556
血液製剤 (注射薬)	入 院	4,069	5,326	8,757	3,617	4,710	7,378	2,647	3,565	5,549
	外 来	520	628	1,021	441	589	866	526	625	1,256
	計	4,589	5,954	9,778	4,058	5,299	8,244	3,173	4,190	6,805
薬 剤 管 理 指 導 件 数		2,598			2,610			4,176		
薬剤管理退院時指導件数		2			0			0		
T P N 調 製 件 数		778			1,108			1,645		
薬 剤 情 報 提 供 件 数		7,048			7,081			6,387		
外来抗癌剤調製件数		21,040			19,045			17,470		
入院抗癌剤調製件数		2,666			2,471			3,342		

(9) 栄養食事指導件数

(平成25年度)

区 分	件 数		
	個 別	集 団	計
外 来	443	103	546
入 院	770	1,042	1,812
計	1,213	1,145	2,358

(10) 先進医療承認状況

区 分	承 認 年 月 日
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法	平成23年11月1日
実物大臓器立体モデルによる手術支援	平成24年 6月1日
(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関) 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平成24年12月1日

(11) 国立大学附属病院評価指標に対応した実績

下記実績は、平成20年度国立大学附属病院長会議において、決定した病院評価指標に対応した本院の指標である。

(平成24年度)

指標項目名	定 義	実績	単位
臓器移植件数(骨髄)	骨髄器移植手術の件数。	13	件
組織診病理診断件数	「N000病理組織標本作製(T-M)」と「N003術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の件数。 入院と外来の合計とする。細胞診は含めない。	6,020	件
術中迅速診断件数	「N003術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の件数。	449	件
外来で化学療法を行った延べ患者数	「第6部注射通則6外来化学療法加算」算定件数。	4,805	人
褥創発生率	一か月あたりの褥創発生率(入院してから新しく褥瘡を作った患者数の比率)。	0.63	%
多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数	期間中の新規MDRP発症患者数。 保菌者による持ち込み感染は除く。入院三日目以降に発生したものとする。	0	人
10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数	10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数。 「10例以上」とはバリエーションによるドロップアウトを含み、当該年度内に適用された患者数とする。パスの数は一入院全体だけではなく、周術期等の一部分に適用するパスでも1件とする。	67	本
超重症児の手術件数	「A212-1-イ超重症児入院診療加算」算定件数。	9	件
専門医、認定医の新規資格取得者数	自院に在籍中、あるいは他院で研修中に、1年間に新たに専門医または認定医の資格を取得した延べ人数。 1人の医師が2つの専門医を取得した場合は2人とする。他院の医師であっても自院で研修して取得した場合も含める。	60	人
指導医数	医籍を本学におく医師のうち、7年目以上で指導医講習会を受講した人数。	148	人
専門研修コース(後期研修コース)の新規採用人数	コース一年目の人数。 大学に採用ではなく、プログラムに採用した人数。他院で研修を開始する場合を含める。	43	人
看護師の受け入れ実習学生数(自大学から)	保健学科等の自学の実習学生延べ人数。	3,134.8	人日
看護師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人数。 一日体験は除く。	333	人日
薬剤師の受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人数。	286.2	人日
その他コメディカルの外部の医療機関などからの研修受け入れ人数	外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人数。外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とする。看護師、薬剤師以外で国家資格のコメディカル。	319.3	人日
その他コメディカルの受け入れ実習学生数(自大学から)	自大学の実習学生延べ人数。	4,681	人日
その他コメディカルの受け入れ実習学生数(自大学以外の養成教育機関から)	自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人数。	236.8	人日
3次救急患者数	3次救急患者の受入数。 ここで「3次救急患者」とは「A205 救急医療管理加算」または「A300救命救急入院料」を算定した患者を指し、必ずしも救命救急センターを持たない施設でも使用できる指標とする。救急外来で死亡した患者も含める。	1,268	人

(12) 厚生労働大臣の定める施設基準等の届出状況

(平成26年5月1日現在)

区 分	届 出 年 月 日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成18年4月1日
歯科外来診療環境体制加算	平成20年6月1日
歯科診療特別対応連携加算	平成24年4月1日
特定機能病院入院基本料 7:1 (一般病棟)	平成19年6月1日
特定機能病院入院基本料 13:1 (精神病棟)	平成22年8月1日
臨床研修病院入院診療加算	平成23年8月1日
救急医療管理加算	平成22年4月1日
超急性期脳卒中加算	平成20年4月1日
妊産婦緊急搬送入院加算	平成20年4月1日
診療録管理体制加算2	平成23年8月1日
急性期看護補助体制加算 75:1 (一般病棟)	平成24年11月1日
療養環境加算	
第一病棟2階 (皮膚科、放射線科)・RI病棟	平成15年9月1日
第一病棟3階 (小児科)・ICTU	平成15年4月1日
第一病棟4階 (消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科、小児外科)	平成11年5月1日
第一病棟5階 (呼吸器内科、腎臓内科、呼吸器外科)	平成15年4月1日
第一病棟6階 (内分泌内科、糖尿病代謝内科、感染症科、神経内科)	平成15年4月1日
第二病棟2階 (整形外科)	平成11年5月1日
第二病棟3階 (産科婦人科)・GCU	平成15年4月1日
第二病棟4階 (耳鼻咽喉科、麻酔科)	平成11年5月1日
第二病棟6階 (脳神経外科、形成外科)	平成11年5月1日
第二病棟8階 (神経科精神科)	平成17年6月1日
重症者等療養環境特別加算	平成9年2月1日
無菌治療室管理加算1	平成24年4月1日
緩和ケア診療加算	平成24年9月1日
がん診療連携拠点病院加算	平成19年3月1日
医療安全対策加算1	平成18年4月1日
感染防止対策加算1	平成25年5月1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成18年4月1日
ハイリスク妊娠管理加算	平成20年4月1日
ハイリスク分娩管理加算	平成22年5月1日
退院調整加算	平成24年4月1日
救急搬送患者地域連携紹介加算	平成24年6月1日
データ提出加算2	平成24年10月1日
救命救急入院料4	平成22年8月1日
特定集中治療室管理料3	平成22年8月1日
新生児特定集中治療室管理料2	平成26年3月1日
小児入院医療管理料4	平成22年7月1日
心臓ペースメーカー指導管理料 (植込型除細動器移行加算)	平成26年4月1日
高度難聴指導管理料	平成8年11月1日
糖尿病合併症管理料	平成21年10月1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月1日
外来緩和ケア管理料	平成24年9月1日
移植後患者指導管理料 (臓器移植後)	平成24年11月1日
移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)	平成25年2月1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年6月1日
院内トリージ実施料	平成25年8月1日
外来リハビリテーション診療料	平成26年4月1日
外来放射線照射診療料	平成24年4月1日
がん治療連携計画策定料	平成23年6月1日
がん治療連携管理料	平成24年4月1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年4月1日
薬剤管理指導料 (全診療科)	平成13年9月1日
医療機器安全管理料1、2	平成20年4月1日
歯科治療総合医療管理料	平成20年6月1日
持続血糖測定器加算	平成26年4月1日
造血器腫瘍遺伝子検査	平成10年4月1日

区 分	届 出 年 月 日
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	平成 22 年 4 月 1 日
検体検査管理加算 (Ⅳ)	平成 25 年 6 月 1 日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成 12 年 4 月 1 日
植込型心電図検査	平成 22 年 4 月 1 日
時間内歩行試験	平成 24 年 4 月 1 日
胎児心エコー法	平成 22 年 4 月 1 日
ヘッドアップティルト試験	平成 24 年 4 月 1 日
皮下連続式グルコース測定	平成 22 年 4 月 1 日
長期継続頭蓋内脳波検査	平成 12 年 4 月 1 日
神経学的検査	平成 20 年 4 月 1 日
補聴器適合検査	平成 13 年 4 月 1 日
内服・点滴誘発試験	平成 22 年 4 月 1 日
センチネルリンパ節生検 (乳がんに係るものに限る。)	平成 22 年 4 月 1 日
画像診断管理加算 2	平成 14 年 10 月 1 日
ボジトロン断層撮影	平成 20 年 6 月 1 日
ボジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	平成 20 年 6 月 1 日
CT 撮影及び MRI 撮影	平成 18 年 4 月 1 日
冠動脈 CT 撮影加算	平成 20 年 4 月 1 日
大腸 CT 撮影加算	平成 25 年 7 月 1 日
心臓 MRI 撮影加算	平成 20 年 4 月 1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22 年 5 月 1 日
外来化学療法加算 1	平成 20 年 6 月 1 日
無菌製剤処理料	平成 10 年 6 月 1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ)	平成 22 年 5 月 1 日
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)	平成 22 年 4 月 1 日
集団コミュニケーション療法料	平成 25 年 4 月 1 日
認知療法・認知行動療法 1	平成 24 年 4 月 1 日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成 24 年 4 月 1 日
一酸化窒素吸入療法	平成 22 年 8 月 1 日
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	平成 22 年 4 月 1 日
骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	平成 25 年 11 月 1 日
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術	平成 12 年 4 月 1 日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成 12 年 4 月 1 日
緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	平成 26 年 4 月 1 日
網膜再建術	平成 26 年 4 月 1 日
人工内耳植込術	平成 8 年 11 月 1 日
植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	平成 25 年 2 月 1 日
上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	平成 20 年 6 月 1 日
上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	平成 24 年 6 月 1 日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2	平成 22 年 4 月 1 日
経皮的冠動脈形成術	平成 26 年 4 月 1 日
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	平成 14 年 9 月 1 日
経皮的冠動脈ステント留置術	平成 26 年 4 月 1 日
経皮的大動脈弁置換術	平成 25 年 11 月 1 日
磁気ナビゲーション加算	平成 25 年 11 月 1 日
経皮的中隔心筋焼灼術	平成 16 年 4 月 1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成 10 年 4 月 1 日
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	平成 22 年 4 月 1 日
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成 18 年 4 月 1 日
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術	平成 9 年 10 月 1 日
経静脈電極抜去術 (レーザーシースを用いるもの)	平成 24 年 4 月 1 日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成 20 年 4 月 1 日
大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)	平成 10 年 4 月 1 日
補助人工心臓	平成 9 年 10 月 1 日
経皮的大動脈遮断術	平成 22 年 4 月 1 日
ダメージコントロール手術	平成 22 年 4 月 1 日
腹腔鏡下肝切除術	平成 24 年 4 月 1 日

区 分	届 出 年 月 日
生体部分肝移植術	平成10年 4 月 1 日
腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術	平成24年 4 月 1 日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成20年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成20年 4 月 1 日
同種死体腎移植術	平成20年 9 月 1 日
生体腎移植術	平成20年 4 月 1 日
膀胱水圧拡張術	平成22年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成20年 4 月 1 日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 （歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術 ・頭蓋内腫瘍摘出術等 ・黄斑下手術等 ・鼓室形成手術等 ・肺悪性腫瘍手術等 ・経皮的カテーテル心筋焼灼術 ・靱帯断裂形成手術等 ・水頭症手術等 ・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 ・尿道形成手術等 ・角膜移植術 ・肝切除術等 ・子宮附属器悪性腫瘍手術等 ・上顎骨形成術等 ・上顎骨悪性腫瘍手術等 ・バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉） ・母指化手術等 ・内反足手術等 ・食道切除再建術等 ・同種死体腎移植術等 ・胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術 ・人工関節置換術 ・乳癌外科施設基準対象手術 ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ・冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術 ・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	平成18年 4 月 1 日
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年 4 月 1 日
輸血管理料Ⅰ	平成24年 4 月 1 日
貯血式自己血輸血管理体制加算	平成26年 4 月 1 日
自己生体組織接着剤作成術	平成24年 4 月 1 日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 4 月 1 日
内視鏡手術支援機器加算	平成24年 4 月 1 日
歯周組織再生誘導手術	平成20年 6 月 1 日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成24年 4 月 1 日
麻酔管理料（Ⅰ）	平成 8 年 6 月 1 日
麻酔管理料（Ⅱ）	平成22年 4 月 1 日
放射線治療専任加算	平成12年11月 1 日
外来放射線治療加算	平成20年 4 月 1 日
高エネルギー放射線治療	平成14年 4 月 1 日
1回線量増加加算	平成26年 4 月 1 日
強度変調放射線治療（IMRT）	平成23年10月 1 日
画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成23年 5 月 1 日
体外照射呼吸性移動対策加算	平成24年 4 月 1 日
定位放射線治療	平成17年 5 月 1 日
定位放射線治療呼吸移動対策加算	平成24年 4 月 1 日
病理診断管理加算2	平成24年 6 月 1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 8 年 5 月 1 日
入院時食事療養（Ⅰ）	平成 6 年10月 1 日

6. 平成25年度決算額等

(1) 医学研究科

イ 収入・支出

● 収入

単位：千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	1,493,973
自 己 収 入	562,913
授 業 料 及 入 学 金 検 定 料 収 入	561,517
財 産 貸 付 料 収 入	1,339
雑 収 入	57
目 的 積 立 金	0
外 部 資 金 収 入	2,354,878
計	4,411,764

● 支出

単位：千円

区 分	支 出 額
業 務 費	1,822,629
人 件 費	1,493,012
教 育 研 究 経 費	329,617
一 般 管 理 費	38,727
外 部 資 金 事 業 費 等	1,547,038
計	3,408,394

※ 外部資金収入には、前年度の繰越額を含む。

ロ 外部資金受入れ状況

単位：千円

科 学 研 究 費		
研 究 種 目	課 題 数	交 付 額
基 盤 研 究 (S)	1	2,500
基 盤 研 究 (A)	1	3,870
基 盤 研 究 (B)	11	25,650
基 盤 研 究 (C)	45	44,350
挑 戦 的 萌 芽 研 究	18	18,800
若 手 研 究 (B)	21	22,200
特 別 研 究 員 奨 励 費	1	900
厚生労働科学研究費補助金	13	33,070
計	111	151,340

※ 課題数及び交付額には、研究分担者としての課題数及び交付額を含む。

単位：千円

寄 附 金	
件 数	金 額
503	627,325

※ 寄附講座運営費を含む。

単位：千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
28	146,916

※ 受託研究費は病理組織・病理解剖検査、司法解剖料、死体検案料、受託研究員及び外国人受託研修員に関する経費を除く。

単位：千円

補 助 金	
件 数	金 額
4	109,920

単位：千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
7	12,822

単位：千円

受 託 事 業 費	
件 数	金 額
6,759	140,645

(2) 保健学研究科

イ 収入・支出

● 収入

単位：千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	780,412
自 己 収 入	502,955
授業料及入学金検定料収入	502,955
雑 収 入	0
目 的 積 立 金	0
外 部 資 金 収 入	196,961
計	1,480,328

※ 外部資金収入には、前年度の繰越額を含む。

● 支出

単位：千円

区 分	支 出 額
業 務 費	1,078,620
人 件 費	814,594
教 育 研 究 経 費	264,026
一 般 管 理 費	10,563
外 部 資 金 事 業 費 等	94,264
計	1,183,447

ロ 外部資金受入れ状況

単位：千円

科 学 研 究 費		
研 究 種 目	件 数	交 付 額
基 盤 研 究 (B)	3	19,110
基 盤 研 究 (C)	9	11,310
萌 芽 研 究	14	19,240
若 手 研 究 (B)	14	14,820
計	40	64,480

単位：千円

寄 附 金	
件 数	金 額
32	17,255

単位：千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
9	22,500

※ 受託研究費は病理組織・病理解剖検査、受託研究員及び外国人受託研究員に関する経費を除く。

単位：千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
1	300

▼医学部コミュニケーションセンター



(3) 附属病院

イ 収入・支出

● 収入

単位：千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	1,888,035
施設・設備整備借入金及補助金	583,380
自 己 収 入	18,220,063
附 属 病 院 収 入	18,216,928
雑 収 入	3,135
目 的 積 立 金	174,815
外 部 資 金 収 入	822,107
計	21,688,495

● 支出

単位：千円

区 分	支 出 額
業 務 費	18,172,480
人 件 費	5,971,473
診 療 経 費	12,201,008
一 般 管 理 費	257,325
施設・設備整備費	583,380
長期借入金償還金	1,853,108
外部資金事業費等	599,139
計	21,460,025

ロ 外部資金受入れ状況

単位：千円

科 学 研 究 費 補 助 金		
研 究 種 目	件 数	交 付 額
基 盤 研 究 (C)	10	15,340
若 手 研 究 (B)	15	24,570
奨 励 研 究	3	1,100
計	28	41,010

▼遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチSi」



単位：千円

補 助 金	
件 数	金 額
20	455,545

単位：千円

寄 附 金	
件 数	金 額
45	17,053

単位：千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
65	104,566

単位：千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
0	0

単位：千円

受 託 事 業 費	
件 数	金 額
28	17,808

7. 土地・建物

(1) 敷地面積

(平成26年5月1日現在)

医 学 部	弘前市在府町5番地	} 本町団地 94,511㎡ (保健学科含む)
附 属 病 院	弘前市本町53番地	

(2) 建物面積

イ 医学部

(平成26年5月1日現在)

区 分	構 造	延面積 (㎡)	竣工年月日
基 礎 校 舎 (Ⅰ 期)	$R_6 \cdot R_{2-1} \cdot S_2$	6,126	S42. 3.27 (改修年月日H19.3. 9)
基 礎 校 舎 (Ⅱ 期)	$R_3 \cdot R_{2-1} \cdot R_6 \cdot R_2 \cdot S_{+1}$	4,929	S43. 3.21 (改修年月日H20.3.28)
基 礎 校 舎 (Ⅲ 期)	$R_{6-1} \cdot R_1$	3,445	S49. 7.10 (改修年月日H21.3.27)
臨 床 研 究 棟 (北 側)	R_7	4,461	S48. 7. 6 (改修年月日H22.3.26)
臨 床 研 究 棟 (南 側)	R_7	5,895	S46. 3.27 (改修年月日H21.3.27)
講 義 室 (基 礎)	R_{2-1}	1,035	S49. 7.10 (改修年月日H21.3.31)
脳 神 経 血 管 病 態 研 究 施 設	R_3	1,491	S40. 3.30
学 生 支 援 セ ン タ ー 1 号 棟	R_4	2,100	S42. 3.28 (改修年月日H25.6.25)
学 生 支 援 セ ン タ ー 2 号 棟	$R_3 \cdot R_{+1}$	1,691	S50. 3.26 (改修年月日H25.6.25)
動 物 実 験 施 設	R_{5-1}	4,894	S57. 3.24
ア イ ソ ト ー プ 総 合 実 験 室	R_{1-1}	517	H11.12.10
廃 液 処 理 施 設	$S_2 \cdot S_{+1} \cdot B_1$	322	S54. 3. 5
課 外 活 動 用 器 具 庫	$R_1 \cdot R_{+1} \cdot B_1$	204	S35. 3.27
危 険 薬 品 庫	B_1	37	S45.12. 8
連 絡 橋	S_1	159	S52. 3.23
福 利 ポ ン プ 室	B_1	7	S54.11.20
廃 液 燃 焼 室	B_1	8	S57. 6.30
臨 床 講 義 棟	R_{3-1}	1,118	H 6. 3.31
車 庫	S_1	123	S45. 3.25
医学部コミュニケーションセンター	R_2	894	H 8. 3. 5 (寄附年月日)
保 健 学 科 校 舎	R_3	1,527	S46.12.17
//	$R_3 \cdot R_4$	4,518	S52. 3.31 (改修年月日H26.3.31)
//	R_3	1,044	S53. 3.20 (改修年月日H26.3.31)
//	$R_1 \cdot R_5$	2,978	S56. 4.15 (改修年月日H25.9.17)
総 合 研 究 棟 (保 健 学 科)	SR_{6-1}	5,185	H15. 3.25
総 合 研 究 棟 (保 健 学 科)	SR_{7-1}	4,378	H26. 8.29 (完成予定)
体 育 館	R_2	1,457	S54. 3.22
弘前大学本町地区共同利用施設	S_2	533	H16.12.16 (寄附年月日)
渡 り 廊 下	S_1	104	H22. 8. 2
貯 留 室	S_1	198	H11.12.10
合 計		61,378	

※ 面積は施設実態調査台帳を使用。竣工年月日は不動産台帳を使用。



▲附属病院正面外観

□ 附属病院

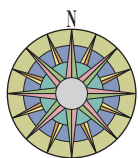
(平成26年5月1日現在)

区 分	構 造	延面積 (㎡)	竣工年月日
第 一 病 棟	SR ₉₋₂	12,110	S63.12.15
第 二 病 棟	SR ₉₋₁ ・S ₊₁	14,123	H 4.11.12
外 来 診 療 棟	SR ₅₋₂	17,006	H19. 9.21
旧 外 来 診 療 棟	R ₃ ・S ₃	912	S61. 7. 4
看 護 師 宿 舎	R ₄	2,350	S42. 3.29
車 庫	S ₁	167	S46. 3.27
ポ ン プ 室	R ₁	37	S43. 3.25
工 作 室	R ₁	210	S60. 3.25
エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	R ₈₋₂	2,924	H 8. 1. 5
中 央 診 療 棟	SR ₈₋₂ ・SR ₊₁	18,142	H11.11. 8
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	R ₂₋₁	2,411	H22. 4.16
地 下 駐 車 場	R ₁	3,829	H23. 5.20
渡 り 廊 下	S ₁	99	H23.12.26
合 計		74,320	

※面積は施設実態調査台帳を使用。竣工年月日は不動産台帳を使用。

8. 建物配置図





大学院医学研究科・医学部医学科／〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地
大学院保健学研究科・医学部保健学科／〒036-8564 青森県弘前市本町66番地 1
医学部附属病院／〒036-8563 青森県弘前市本町53番地
電話 0172-33-5111(代表)

発行：平成26年6月 編集：弘前大学医学研究科総務グループ